

専門・認定看護師会ニュースレター

2024特別企画キャリア応援号

第2024-7号
発行日：2024年9月12日
専門・認定看護師会
担当：脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師
竹内 廣美

看護師として働く選択肢はたくさんあります。その中で専門看護師・認定看護師というスペシャリストとして働くキャリアについて考えてみませんか？今年度は現在専門・認定看護師として活動する14人のキャリアについてリレー形式でお伝えしたいと思います。

今回は…**脳卒中リハビリテーション看護認定看護師**です。

●「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師」ってどんなことをする人？

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、B過程では「脳卒中看護認定看護師」に名称が変更となっています。この分野の認定看護師の活動範囲は、発症から在宅までを範囲としており、資格を持つ看護師は急性期、回復期、維持期とさまざまな場所で働いています。

発症時は疾患の重篤化回避の看護、急性期では機能回復や生活再構築のための看護、回復期は地域で生活することを視野に実際の生活をイメージしての在宅調整、維持期では、機能障害を有した状態での生活の支援などを行います。

私は急性期にいますので、機能回復や生活再構築のための支援として、離床や症状に合わせた日々のケアをスタッフと考え、実践しています。

● どうしてこの資格を？

看護師経験6年目の時の失語症患者とのかかわりがきっかけです。患者にかかわったことで患者の回復を実感し、脳の不思議さと面白さを感じ、もっと知りたいと思いました。そして、チームで看護することの楽しさも実感し、みんなで脳卒中患者の看護がしたいと思ったのがきっかけです。

● やりがいはどんなことですか？

脳卒中の発症により意識レベルが低下している患者に、スタッフが一丸となりかかわったことで、患者の意識レベルが改善し、“問いかけにうなづく”といった反応がみられたとき、『やってきてよかった～』と思います。限界はありますが、患者にかかわることがとても大切だと感じています。毎日同じケアが継続されますが、日々の些細な変化を見つけ、スタッフと確認し、喜びあうことは、自分たちの関わりの結果であり、やりがいにつながっています。

● これからの目標は？

高齢の患者が増えたことで、発症後にどのように療養するかを考えることが増えてきました。

脳卒中は突然の発症のため、あらかじめ準備をしている患者・家族は少ないです。

突然発症した患者・家族の意思決定支援についての取り組みが必要だと感じています。



次回は…
皮膚・排泄ケア認定看護師です。

認定看護師について
さらに知りたい方は
↓↓↓

